

## カバン

砂浜にカバンを置いて  
僕は波打際まで歩いて行つた  
しやがんで波の寄せて来るのを眺めた  
目に射し込む西日の色  
気になつて僕はカバンの方をふりむく  
やや離れた場所に小さい黒い姿が見えた  
時間がすぎると あたりの様相は変化しはじめた  
立ちあがつて 僕はカバンの所に行つた  
しかし カバンは無かつた  
さつきふりむいてカバンを確認した場所には  
カバンは無い それは流木であつた  
方向と距離の誤認  
くらがりがすでに海岸いつぱいにひろがりはじめ  
砂粒のやうに重くのしかかつた  
そこらをさがしてみたのだが  
種播く姿勢で動いてみたのだが  
僕は僕のカバンを見失つた